

私は、元々誰かと勉強したり自分の勉強方法を人に共有するのが嫌で一人でコツコツと勉強してきたのですが友達に勉強を教える機会があって、教えて一緒に勉強した結果友達の点数が上がって、友達が努力したのが一番の理由だけれど自分も力になれたと思うのでそれが嬉しかったです。

また、誰かと勉強すると自分のモチベーションも上がるし、楽しさがupするということに気付けたのも嬉しかったです。

- 前期の臨床哲学の授業はクラスの友達と打ちけるチャンスだったり、良い意味での息抜きできる授業だったのしかたです。
- 後期の生命倫理の授業は内容がババ痛、なるようなものもあって、クラスみんなと涙とか気にせずシェアできる環境があったのしかたです。
- 毒劇物の試験ではみんなで競い合うのも楽しかったし、それぞれの特徴の覚え方などをシェアしてみんなで点数あげるために協力できて全員合格はできなかつたけど、それでも達成感を感じることができました。

私は、入学当初は、全く勉強の習慣がなくて、

どのテストも点数が低かったのですが、友達や先生に支えられていながら、日々勉強を続けた結果、テストの点数が上がって、勉強が楽しいと思えたことがとてもうれしかったです。

この学校校に入学してからの嬉しかった出来事は、
様々な場面で大々感を感じる事ができました。
勉強の面では、分からないところを先生に聴きに行くと、
必ずスッキリして、聴きに行ってきたなと思えることです。
分からないところを分かるまで糸かけ教えていたため、
「よく聴くこの言葉はこんな仕組みなんだ」と思ったり、「この部分と
繋がっているんだ」とひらめいた時の感情はとても嬉しいものです。
また、実習の時に使用した顕微鏡金鏡の使い方に対応できず、
悩んでいた時に先生に相談をすると、授業外で時間を設けてくださり、
次の授業ですぐに使えるようになったことは本当に嬉しかった事です。
友だちと関わる面でも、決まった人だけでなく、グループを通じて
様々な人から、色々な角度での考えを聴く事ができ、複数の視点から
物事を考えているのを感じられている時は、不思議な気持ちと同時に
日々新しい学びと発見で嬉しい気持ちになる事ができて1年でした。

高校生の頃は先輩や先生と今の様に話す機会が本当に無かったので、
昭医に入って対話会や、先生達との距離の近さが新鮮で良いなと
感じました。また、友達と一緒に勉強することが増えて、仲も良くなり、
仲の良い所を互いに教え合えて勉強へのありがたさをよく感じました。

高校までは先生方には沢山の質問をしたり、お話をする機会がほとんど
なかったが、昭医に入って、沢山の質問やお話をする機会が増え、分からないこと
も聞くようになったので、勉強の意欲が上がった。

また、同級生と協力して、勉強する機会ができたので、自分が分かる
所、分からないところが明確に分かり、また、「教える」ということで
自分の記憶に残りやすい勉強法が見つかった。

今朝、(同級生とは関係することはないけど)、先生や先輩と
あまり接点のないところから、昭匠に入社。先生と
とフレンドリー(失礼にはならない程度)に話したり、先輩と
輪になって話したり。町の清掃に取り組んで"リ"……。
他ではできていないことからこの1年でいかに(お)い堪能できて
良かったのでは？

1番山に残る、というのは、高尾山に登ったこと!!
初めて登る山に、ワクワクしました。登山中にクラスの子、先生と話を
しながら楽しかった。歌をうたいながら下山したのも良い思い出に
なりました。そして、写真を撮ったり、自然を感じながら、とても楽し
びました。

初めは友達が出来ず不安だったけど、10月7日とか
日本語表現の雑談ゲームとかでクラスの人と仲た
まらして楽しかった。毒罵りの時は模試をやった時に
点数が下がって、勉強するのがおもしろかった。

高野山は、10月7日活動(10月10日)に予定していた。10
月10日(10月10日)目標は、高野山活動(10月10日)に
10月10日(10月10日)に予定していた。10月10日(10月10日)
は、高野山活動(10月10日)に予定していた。10月10日(10月10日)

4月に行、た高尾山で最後の階段がきつから、た
しと、頂上着いた時、達成感がすこからたてて、
友達と喋たり、写真を撮るとかできて、仲を深める
き、かけにた、たので、たてて、

- ・進学してから、先輩との交流も含め、歳の違う縦のつながりがあり、学業だけでなく言葉遣いにも気を遣い、正しい敬語を知ることができました。
- ・バイト先で前フリンドの関わり方を考えるようになり、先輩だけでなく立場は下めた、な人と上手に同僚になるようになりました。

今までの学校よりも登校日数が増え(土曜日)、その分仲間との関わりが増えて1人1人と話しかけることができます。あとは、1年生のうちから国家試験にチャレンジする、70%の大変なこともあります。自分なりたい夢に近づく意識が芽生えたことです。

テスト期間の皆で励まし合い、
テスト直前に必死にプリントとにらめ、こ
している空間が青春。

生命と倫理でよかったこと生きるとは死ぬとはどういうことなのか死んだ後や死ぬ前に何が出来るのかを学べたことだと思う。

先生に言われてうれしかったこと

- 。勉強が苦手でどう勉強していいかわからない私を計画してくれて指定の時間頑張る勉強した私にすごくほめてくれたこと。

友達に言われてうれしかったこと

- 。勉強が苦手な私を励ましてくれてとても嬉しい気持ちになった。
- 。わからないところも分かるまで教えてくれたときに「よかったね!」と励ましてくれた。

自分のために勉強するのはいいけど、友達のために勉強するのはいいけど、勉強が苦手でどう勉強していいかわからない私を計画してくれて指定の時間頑張る勉強した私にすごくほめてくれたこと。

自分のために勉強するのはいいけど、友達のために勉強するのはいいけど、勉強が苦手でどう勉強していいかわからない私を計画してくれて指定の時間頑張る勉強した私にすごくほめてくれたこと。

・高校の時は、先輩と話す機会があまりなかったけど、
昭和三十八年に入って、グループワークが盛んになり、対話会を通して、
先輩たちと関わって、たくさん交流が出来るようになった
と思いました。

・授業や勉強会を通して、クラス内でもあまり話さない
子たちとも話すようになって、1年間が充実していった。

・グループワークなどが沢山あったので、いろんな人と仲良くなって、
うれしかった。

・前期の発表のとき、先生たちから「頑張ったね」と言ってもらって
うれしかった。

・リクティンで、仲良くなった人たちがいたので、入学式のときに、
不安がなくなった。

・お礼と感謝後に、勉強の力が身についた。

・梅先生と授業のとき、どんな質問も受け付ける
空気があったので、居心地が良かった。

- ・毎日勉強して毒劇の試験に受かったことがうれしかったです。
小テストや単元テストのようなテストでもいい成績だったり、
点数が一番よかった時など、「頑張ってるね」とか、

「1番だよ」と声をかけてくれるとやりがいを感じれはいいです。

- ・誕生日の時にいつも一緒にいる友達にプレゼントや
ケーキなどで祝ってくれたこともうれしかったです。

生命倫理には、「人の死」という医療従事者を目指す者として避けては通れないことを学べる貴重な講義でした。最初の講義で取り扱った夜と霧では、約80年前に起こったこととは思えない残虐行為を作者の体験をもとに書かれているので生々しく、リアルに感じられることができ衝撃的でした。ですが、普段の自分なら読まないであろう内容の本に触れられ命の重みをより知ることができたのでとても良い機会でした。

放課語に学校にのこって、

友達と勉強しにこと。

3. 5. 17 にしてはから。

◦ 相互に自分から話せること。1ヶ月3回ほど
から汗山。友達と話せること。出会う
身にはお礼を言えること。1ヶ月1回に1回
嬉しかった。

◦ 高校では上下関係がなかった。学校
では対話会やグループを通じた先輩後
進の交流があった。

教員との機会がたまたまあるからイニ
シアチブは「12」は「アウト」も「2」の知識の
定着が「2」になる。異性友達も「2」になる。

授業中

クラス内でのつながりがかなり強く、中、高の時と
比べても一体感が強く男女の壁も無いように感じる。
特にテスト前は一体感が増していると感じる。

授業中に習った内容を実際に実習で行い、
観察をした事で理解が深まり楽しい実習になりました。
超音波実習での僧帽弁の動きや動脈や静脈の位置などを
実際に観察して位置や動きを把握できました。

テスト勉強でまとめたものを友達と共有し合、T=V。
即ち后、T=Vでできるから、ちよと頑張れる。
まさるの授業でいろいろな話があるから、良い意味で
何も気にせず、素でいられる。

高校時代、苦手だと思っていた暗記系の科目が
自分が思っていたよりもできていましては真剣
にや、T=Vが、たと気が付かなくて勉強する
ことの楽しさや嬉しさを知りました。

私がこの学校に入学してからのこと、たけと
思うエピソードは先生の優いことを感じられたこと。
特に谷口先生は毒劇の百式馬券の際に対策プリントを
たくさん作ってくれた、たりしてそのおかげで無事
合格することができた。

今まで先生と関わることはなかったけど、この学校に来てから先生の方から地元に関してのことなど、色々話しかけてくれてうれしかった。そのおかげで先生方に好まれるイメージも少しとれました。

私が「嬉しかったことは、入学してすぐにある高尾山登りです。私は九州から来た友達もいなければ、しゃべり方もちがうのでこのイベントで友達を作ることができたこと、それに「仲良くなると、今がある」ので本当に嬉しかったです。

福地先生や、一緒に勉強してくれる友達と出会えたことが、一番良かったです。遺伝子は分からないことを福地先生に教えていただいて、理解が深まったし、一緒に聞いていた、るかやももちゃんが、私が疑問にも思わなかったところも聞いてくれたから、もっと分かった！遺伝子の試験に自信が持てました。他にも、1年間で新しい場所に行ったり楽しみました。